

## 単元名 本は友達2

配当時間 5時間

- 単元の目標 (1) 日常的に読書に親しみ、読書が自分の考えを広げることに役立つことに気付くことができる。  
 (2) 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめ、その意見や感想を共有することで、自分の考えを広げることができる。  
 (3) 読書の役割についての理解を深め、これまでの読書生活を振り返ってテーマに着目した本の交流をしようとする。

## 標準的な展開例

06010117\_001

【教材名】私と本／森へ (P. 78～P. 91)

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 「学習の進め方」を確認して学習課題を設定し、学習計画を立て、自分と本との関わりを考える。          ★自分と本との関わりをふまえて、本を紹介し合おう。          ○教科書 (P. 78) を見て、これまでにどんな本に出会ってきたかを振り返り、学習のめあてをつかむ。</p> <p>○自分と本の関わりについて、友達と伝え合う。</p> <p>○特に心に残っていた本や、その本がもつテーマについて交流する。</p> <p>2～3 これから読んでみたい本のテーマを考え、ブックトークの手順を確認する。          ○これから読んでみたい本のテーマを考える。</p> <p>○「森へ」を読む。</p> <p>○「森へ」で心に残ったことを交流する。</p> <p>○教科書 (P. 82) を参考にしてブックトークの手順を確認する。</p> <p>4～5 ブックトークをする。          ○自分で考えたテーマに沿って、紹介したい本を決め、ブックトークをする。</p> <p>○学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの読書記録を見返したり、授業で活用したことを思い出したりして、今までにどんな本と出会ってきたかを思い出させる。</li> <li>・教科書 (P. 79) を参考にさせ、自分と本との関わりについて考えさせる。</li> <li>・心に残っている本が、自分にとってどのようなものなのかについても考えさせる。</li> <li>・教科書 (P. 81) や教科書 (P. 265) 「本の世界を広げよう」を参考に読む本を決め、並行読書を始めてもよい。</li> <li>・教科書の写真を見ながら聞かせる。</li> <li>・分からない言葉は、国語辞典で調べさせる。</li> <li>・グループごとにホワイトボード等へ書き出し、掲示して交流させてもよい。</li> <li>【評】感想を交流する活動を通して、自分の考えを広げる「思考・判断・表現」を評価する。</li> <li>・印象に残っている本を再読したり、新たに選んだ本を読んだりして、紹介の仕方を考えさせる。</li> <li>・グループでブックトークをし、本の魅力を伝え合わせる。</li> <li>・交流を通して、多様な見方や考え方に触れられるようにさせたい。</li> <li>【評】ブックトークをする活動を通して、読書生活を振り返って本の交流をしようとする「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</li> <li>・「たいせつ」を読み、今後の自分と本の関わりや読書することのよさについて考える。</li> <li>【評】学習を振り返る活動を通して、読書が自分の考えを広げることに役立つという「知識・技能」を評価する。</li> <li>・この後の活動として、知多の友を使って読書感想文の指導へとつなげるのもよい。</li> </ul>

【 備 考 】